

図書館だより



図書館ホームページアドレス <https://lib.city.irusa.saitama.jp/>

No.62

令和7年10月号

【4・7・10・1月発行】

発行:入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

実は

入間市にもある！

電子図書館



—いるまし電子図書館のご案内—

こんな経験ありませんか？

図書館で本を借りたり
返したりは面倒…

紙の本は場所をとるし
重たい…

文庫は文字が小さく
て読みづらい…

電子図書館なら！

ネットが繋がれば
スマホ、パソコン、タブレット
でいつでも読める

期限がくると自動返却
返し忘れナシ

文字の大きさを変えられる

そのほか…



小説、実用書、絵本など

幅広いジャンルの本が読める



読みたい本が貸出中のときは予約できる



試し読み可能(対応書籍のみ)



いるまし電子図書館トップページ

etc...

利用については裏面へ

いるまし電子図書館の利用には図書館に来館しての申込が必要です

条件

入間市に
在住・在勤・在学

申込翌日から利用可能

貸出冊数:3冊まで 14日間貸出

予約冊数:3冊まで 7日間取置



いるまし電子図書館はこちら

<https://web.d-library.jp/iruma/>



読み聞かせボランティアグループの広場



図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループのどんぐり(本館)・かざぐるま(西武分館)・おはなし^{まどか}円(西武分館)・茶の花(金子分館)・トトロ(藤沢分館)です。
各グループより、最新情報をお届けします。

どんぐり 毎週(土)、(日)14時からの読み聞かせでは、たくさんのこども達に力をもらっています。ありがとうございます。また、「冬のおたのしみ会」にむけて「どうぞのいす」のペープサートの練習を始めました。毎月第3火曜日13時30分からは、定例会を行っています。一度見学に来て下さい。どんぐりメンバー大募集中です。

かざぐるま おはなし会は「はじまるよ はじまるよ」の手あそびで始まります。絵本や紙芝居など、どんな反応をしてくれるのかといつもワクワクしながら読んでいます。他にも手あそびやクイズなどで楽しんでいます。12月の「冬のおたのしみ会」の準備で皆で知恵を絞っています。遊びに来てください。

おはなし^{まどか}円 月に一度、西武分館で、第1土曜日10時半からおはなし会を行っています。「おおかみとロバ」、ペープサートを使って「あれだけはにがて」、「やぎとライオン」などのお話をしました。紙芝居や絵本、手遊びなどもしています。今度は何が出てくるかな。おたのしみに！

茶の花 去る、7月26日(土)夏のおたのしみ会では、『みんなおばけ』のパネルシアターや、布芝居『膳腕渕の大蛇』、紙芝居『かりゆしのうみ』など、たくさんの参加型プログラムで皆さんに楽しんでいただきました。今年は、戦後80年ということで、今回は平和・戦争に関する作品の紹介をしたいと思います。絵本『すずばあちゃんのおくりもの』、紙芝居『あした… 戦災孤児たちのはなし』どちらも最後には心あたたまる作品です。12月には、「冬のおたのしみ会」を予定していますので、ぜひいらしてください。

トトロ 夏のおたのしみ会、こわいおはなし会には、たくさんのご来場ありがとうございました。ただいま、新作の大型紙芝居を制作中です。「冬のおたのしみ会」にも是非お越しくださいね。もちろん、毎週木曜土曜のおはなし会でも皆さんの笑顔に会えるのを楽しみにしていますよ。



大人のためのBookガイド



～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『戦争犯罪と闘う 国際刑事裁判所は屈しない』
赤根 智子／著 文藝春秋 <329.6/A>

度々問題になる戦争犯罪。実はそれらを裁く組織があり、現在、日本人が所長を務めています。本書では国際刑事裁判所所長の著者が自身の生い立ちや組織の役割について述べています。専門的な用語は控えめに、学生時代から現在に至る流れなど、誰でも読める内容となっています。一方で、著者は紛争当事国からの指名手配を受けており、大国からの干渉などで組織が厳しい環境にあることも言及しています。世界がどう犯罪に取り組んでいくべきなのか、重要な問いを投げかける1冊です。

『どうだ！埼玉うどん伝説！！』

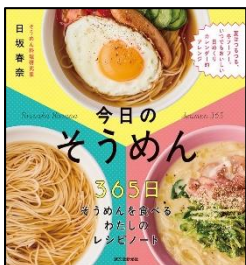
永谷 晶久／著 大空出版 <596.38/ナ サイト>

私たちが住む埼玉県はうどん生産量全国2位、本州有数の小麦生産を誇るうどん共和国。さらに県内には武蔵野うどんをはじめ20を超えるうどんの種類があります。本書では、県内の名店のほか県外人気店を加えた49店舗を紹介しています。他と違うのは、単なるうどんの名店紹介ではなく、埼玉県の文化や歴史と一緒に学ぶことができる点です。著者のあふれるうどん愛、いや埼玉県愛がこれでもかというほどに伝わってきます。さあ、みなさんもレッツ、ワシワシ！



『今日のそうめん』

日坂 春奈／著 誠文堂新光社 <596.38/ニ>



お中元の定番、夏の麺の代表格そうめん。食べ方に困って、夏が過ぎてもたくさん残っているご家庭も少なくないはず。365日そうめんを食べている著者が提案する、定番からサラダにグラタン、おやつアイデアレシピも載るコチラの本。保存のきく乾麺であり、ゆで時間も短い上、どんな調理法にも合う、そうめんの無限の可能性にハッとすることは、これから、そうめん食べたさに、自ら買いに行くようになるかも。カラフルな写真を見ているだけで、お腹が空いてきそうです。

『風になるにはまだ』

笹原 千波／著 東京創元社 <913.6/ササハ>

病気や障害など、様々な理由で生身の体を手放すことになった人々が、「情報人格」として仮想世界上で生きていける世界。とある事情から情報人格として生きていくことを選んだ榎山小春は、大学時代の友人たちに会うため、自身に適合する生身の体を借りられるサービスを利用します。体を貸し出してくれることになったのは、小春の半分ほどの年齢の女子大生。1日限りの関わりとなる二人。その短い時間は、彼女たちにどんな体験と変化をもたらすのでしょうか。

表題作『風になるにはまだ』のほか5作品を収録した短編集です。



新着資料もたくさんあります。各館の新着コーナーをご覧ください！
新刊だけでなく、寄贈でいただいた資料なども並びます。



こども向けBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『さくら図書館のひみつ』《913／にしむ》

西村 友里／作 ゆーち みえこ／絵 国土社

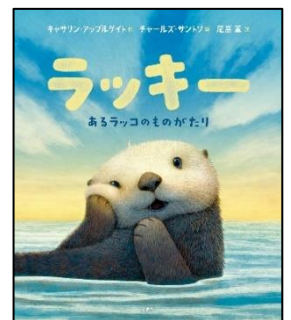
ある日学校で、自分と同じ名前が書かれた古い本を見つける小学4年生の百谷悠也。覚えのないその本はどうやら80年前のものようです。いったいどこから現れたのでしょうか。不思議に思った悠也は友達と協力し、その謎を解き明かしていきます。ページをめくるたびに過去と未来が繋がっていくおはなしです。80年前の日本でなにが起こっていたのか…。家族の大切さや平和について考えさせられる1冊です。

『ラッキー あるラッコのものがたり』《か1》

キャサリン・アップルゲイト／作 チャールズ・サントソ／絵 尾高 薫／訳 偕成社

おおきな波にながされて母さんラッコとはぐれてしまったラッキーは、人間にたすけられ、すいぞくかんで、すくすくげんきにそだちます。やがて、しぜんのうみへかえることになったラッキーですが、あるできごとが、うめいをおおきくかえることになるのです。

いま、ラッコはせかいじゅうでも数がすくなく、ぜつめつのききになっています。このえほんをきっかけに、ラッコがどんないきものなのかしらしてもらえたらうれしいです♪



『石のひみつ図鑑 さがす しらべる つくる!』《458》

柴山 元彦／監修 カンゼン

色々かたち、大きいものから小さいものまで、石にはたくさんの種類がありますね。みなさんはお気に入りの石をみつけたことはありますか？この本では、石ができるまでのひみつや、種類ごとの特徴の見分け方についてなどがわかりやすく紹介されています。そして、日本全国の石探しおすすめスポットもQRコードで調べることができます。これであなたも石博士の仲間入り♪

ティーンズ向け

『この世は生きる価値がある』《Y 913／はせが》

長谷川 まりる／作 ポプラ社

病気で生死をさまよう中学2年生の男子・高梨天山の体に、とある“魂”が入り込む。ずっと人間界にあこがれていた“魂”にとってはあらゆるものが新鮮だった。天山として過ごし家族や友達と交流するなかで、様々な感情の波に翻弄されていく“魂”にやがてタイムリミットが近づく……。1年間という期限つきの人生を生きた“魂”が最後に何を語るのか。長谷川まりるさんによる、転生青春ストーリーです。

